

あさみどりの会 平成28年度事業報告

社会福祉法等の一部改正に伴う社会福祉法人制度の見直しによって、29年度より新しい法人体制に切り替わるための準備を進めてきた。評議員選定委員会による評議員の選任も終わり、29年度からは新たな評議員による理事選任が行われ、新体制がスタートすることになる。

法人本部に関しては、本部事務局体制になって2年が経過した中での現状として、本部と各事業所間の報告、連絡、相談等を円滑に進めていくためのシステム作りが課題となってきた。今後の取り組みとしては、顧問である税理士及び社労士を交えて検討を重ね、本部事務局体制の強化を図っていくことが急務である。また、成人事業所においては有期契約職員数が増えてきているものの、正規職員からの業務移行が難しく、人件費率は未だ70%を超える高い状況が続いているので、引き続き、職員の業務体制の見直しが求められる。

職員の活動としては、法人全体研修(年2回開催)の1回を各事業所の職員代表が発表者となり、実践発表の場を持った。今後も継続して行うことで、法人の理念に即した実践を内外に発信していくきっかけとしていきたいと考える。

公益事業については、例年どおり、フォーラムあさみどり、心身障害問題を考える集い、ボランティアスクール、あさみどりワークショップを開催した。また前年に引き続き、ホームのスタッフ確保等を目的とした支援者向けの講座を各成人施設で開催した。

1 組織強化

(1) 理事会

- ①開催日時 平成28年5月20日(金) 午後7時から8時まで
開催場所 さわらび園3F カウンセリングルーム
出席理事 後藤秀爾 畠村善照 島崎徹也 島田修三 鶴飼信孝 追分伸夫 椿泰廣
出席監事 菅沢豊
議 事 第1号議案 平成28年度予算の一部補正について
第2号議案 平成27年度事業報告について
第3号議案 平成27年度決算について(監事監査報告)
第4号議案 定款・規則等の改正について
第5号議案 社会福祉法人組織体制の見直しおよび評議員選定委員会の設置について
第6号議案 その他(理事長専決事項含)
- ②開催日時 平成28年11月25日(金) 午後7時から8時まで
開催場所 ルブラ王山
出席理事 後藤秀爾 椿泰廣 島崎徹也 島田修三 追分伸夫 鶴飼信孝
出席監事 菅沢豊
議 事 第1号議案 平成28年度予算の一部補正について
第2号議案 定款変更について
第3号議案 諸規程の改正について
第4号議案 評議員選定委員会について
第5号議案 その他
- ③開催日時 平成29年3月6日(月) 午後6時から7時まで
開催場所 さわらび園3F カウンセリングルーム
出席理事 後藤秀爾 椿泰廣 鶴飼信孝 島崎徹也 島田修三 追分伸夫 畠村善照
出席監事 小林博義 菅沢豊
議 事 第1号議案 平成28年度施設整備補助金事業
グループホームスプリングラーの設備設置工事について
①さわらび福祉園 ②れいんぼうワークス
第2号議案 平成28年度防犯施設整備事業
防犯カメラ、非常通報装置等設備設置工事について
①さわらび園 ②べにしだの家

- 第3号議案 その他、事業報告
- ④開催日時 平成29年3月24日(金) 午後7時から8時まで
 開催場所 さわらび園3F カウンセリングルーム
 出席理事 後藤秀爾 鵜飼信孝 島崎徹也 追分伸夫 畠村善照
 出席監事 小林博義 菅沢豊
 議 事 第1号議案 平成28年度予算の一部補正について
 第2号議案 平成29年度事業計画について
 第3号議案 平成29年度予算について
 第4号議案 諸規程の改正について
 第5号議案 平成29年度評議員について
 第6号議案 その他について

(2) 評議員会

- ①開催日時 平成28年5月20日(金) 午後6時から7時まで
 開催場所 さわらび園3F カウンセリングルーム
 出席評議員 後藤秀爾 畠村善照 椿泰廣 島崎徹也 島田修三 鵜飼信孝 追分伸夫
 浅井勉 坪内勝彦 綱木みどり 野々山郁 手嶋雅史 熊谷かの子 青山達雄
 葛原成美
 出席監事 菅沢豊
 議 事 第1号議案 平成28年度予算の一部補正について
 第2号議案 平成27年度事業報告について
 第3号議案 平成27年度決算について(監事監査報告)
 第4号議案 定款・規則等の改正について
 第5号議案 社会福祉法人組織体制の見直しおよび評議員選定委員会の設置について
 第6号議案 その他(理事長専決事項含)
- ②開催日時 平成28年11月25日(金) 午後6時から7時まで
 開催場所 ルブラ王山
 出席評議員 後藤秀爾 椿泰廣 畠村善照 島崎徹也 島田修三 追分伸夫 青山達雄
 浅井勉 坪内勝彦 綱木みどり 野々山郁 手嶋雅史 熊谷かの子 葛原成美
 出席監事 菅沢豊
 議 事 第1号議案 平成28年度予算の一部補正について
 第2号議案 定款変更について
 第3号議案 諸規程の改正について
 第4号議案 評議員選定委員会について
 第5号議案 その他
- ③開催日時 平成29年3月24日(金) 午後6時から7時まで
 開催場所 さわらび園3F カウンセリングルーム
 出席評議員 後藤秀爾 畠村善照 島崎徹也 鵜飼信孝 追分伸夫
 青山達雄 浅井勉 綱木みどり 坪内勝彦 野々山郁 手嶋雅史 葛原成美
 出席監事 小林博義 菅沢豊
 議 事 第1号議案 平成28年度予算の一部補正について
 第2号議案 平成29年度事業計画について
 第3号議案 平成29年度予算について
 第4号議案 諸規定の改正について
 第5号議案 平成29年度評議員について
 第6号議案 その他について

(3) 施設長会<全6回開催>

6月30日、8月2日、10月5日、12月27日、2月23日、3月16日

(4) 施設長・主任会<全4回開催>

4月15日、7月12日、11月10日、1月12日

(5) 職種別部会

支援スタッフ部会：開催無／共同生活事業所スタッフ部会：11回開催（うち1回他事業視察研修）
 居宅介護・相談支援スタッフ部会：開催無／事務担当者部会：開催無
 給食担当者部会：開催無／療育援助編集会議：施設長会議内で随時

(6) 委員会

- ① ボランティア活動委員会：22回開催（ボランティアスクール企画会議含む）
- ② 療育活動委員会：研修事業部会7回開催／学齢児支援部会5回開催
- ③ 職員スタッフ活動委員会：職員研修部会11回開催／情報部会4回開催

2 事業

(1) 社会福祉事業（各事業所報告参照…P9～）

(2) 公益を目的とする事業

ア) 療育援助事業

既存の諸制度の網の目からもれた部分等で、援助を必要とする障害児(者)および家族・団体への援助を行い、家庭療育・地域療育の促進をはかるため次の事業を実施した。

① 療育相談

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
さわらび園	21	5	14	8	1	12	14	32	5	14	11	12	149
わらび福祉園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
べにしだの家	2	1	1	0	1	1	0	0	0	2	2	1	11
れいんぼうワーク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	23	6	15	8	2	13	14	32	5	16	13	13	160

①-1 年齢別内訳

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
6歳未満	17	3	12	7	1	10	13	31	3	12	10	11	130
計	21	5	14	8	1	12	14	32	5	14	11	12	149
6歳以上	4	2	2	1	0	2	1	1	2	2	1	1	19

② 在宅心身障害児の家庭療育援助および各地療育グループの援助

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実施回数	12	14	14	9	9	11	23	16	16	10	15	11	160
対象人数	121	143	132	140	113	193	136	328	103	48	134	280	1871
援助者数	46	144	81	60	92	108	61	63	55	20	28	29	787

【療育グループ活動状況（8団体）】

グループ名	主な活動	代表者
同朋大学心身障害福祉研究会	つばみの会・千種青年学級・千種区手をつなぐ育成会等における療育援助活動	伊藤沙也香
新池子どもクラブボランティア	地域の小中学生及び障害児を対象とした療育援助活動	加藤貴弘
南山大学ボランティアサークル	児童養護施設溢愛館・若水授産所・フロアバレー・あさみどりの会等における療育援助活動	坂野愛実
名古屋学芸大学短大部Tears	あさみどりの会等における療育援助活動	吉田萌恵
相山女学園大学うえるかむ	あさみどりの会等における療育援助活動	大瀧宥乃
婦人ボランティアさわらびグループ	さわらび園における療育援助活動	芦田かよ子
なないろコンサート	なないろ（福祉）コンサートの企画、開催	伊東宏崇
ボランティアスクール企画委員会	ボランティアスクールの企画	伊東宏崇

③ 療育グループ

③-1 学童療育グループ (しんいけ子どもクラブ等でのフォローを含む)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実施回数	2	6	7	3	1	5	8	3	3	7	3	2	50
参加人数	51	48	75	15	1	18	42	8	42	34	46	32	412
ボラ参加	0	2	45	0	0		2	1	2	2		1	56

③-2 乳幼児療育グループ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実施回数	6	6	10	6	1	8	6	8	6	5	8	6	76
参加人数	67	62	106	65	4	82	53	92	89	79	122	127	948
ボラ参加	3	7	12	3	0	5	7	11	5	4	4	7	68

④ 母親研修会(心身障害についての基礎学習、年10回 延べ163名)

月	日	テーマ	講師(敬称略)	参加人数
4	22	わが子のことを知っていますか? ~母子療育の意味について~	さわらび園園長 島崎 徹也	29
5	16	レクリエーション・タイム♪ ~お母さんが楽しむことの大切さ~	レクリエーションインストラクター 中野 則恵	27
6	23	子どもの育ちのプロセス ~発達を知る~	ファミリーメンタルクリニック 河村 雄一	30
7	12	わが子との歩みを振り返って ~体験発表~	野々山歯科医院院長 野々山 郁	27
9	9	お母さんになるということ ~子どもと共に育つ~	愛知淑徳大学心理学部教授 後藤 秀爾	25
10	25	人とのかかわりを通して ~変わる事、変わらない事、大切な事~	人間関係トレーニングトレーナー 小山田 奈央	22
11	19	きょうだいとして、家族として ~様々な思いを感じながら~	さわらび園卒園児のきょうだい	28
12	5	子どもたちの将来を考える ~特別支援教育の現場から~	名古屋市特別支援教育研究協議会会長 岩井 茂	26
1	12	サポートブックの作り方と使い方 ~わが子のことを理解しよう~	愛知県自閉症協会・つぼみの会 ペアレントメンター 山田 尋美	27
2	20	はたらく力、くらす力 ~幼児期に大切なこと~	わらび福祉園園長 熊谷かの子	24

⑤ 「あさみどりワークショップ」

10月2日	テーマ	講師(敬称略)	参加人数
	やってみよう、ワールドカフェ	高志保園施設長 知念 隆生	12

⑥ その他のボランティア派遣

イ) ボランティア育成事業

社会人の生涯学習とのかかわりの中で生きがいを求め、人の役に立ちたいという人々のニーズに応え、社会活動参加への基礎的専門的学習の機会を設け実践活動への方向づけを行った。

① なないろコンサート (10月8日 同朋大学成徳館ホール)

参加者149名 (ボランティア等79名)

② あさみどりボランティアサークル連絡協議会

	会議内容	出席者	参加人数
5月21日	あさみどりの会のボランティアについて ボランティアサークル、個人ボランティアの紹介 法人各事業所年間行事予定の案内 ボランティアスクールの案内/情報交換	ボランティアサークル7団体 10名 個人ボランティア 2名 法人職員 7名	19

③ ボランティア・スクール(年1講、中日新聞社・中日新聞社会事業団共催)

第72回(5講座 受講者85名・延べ参加人数217名)

月	日	テーマ	講師(敬称略)	参加人数
10	12	そもそもボランティアってなあに? 『出会いがわたしの”財産”になりました』	社会福祉法人あさみどりの会 顧問 島崎春樹 あさみどりの会職員 種田勝利 社会人ボランティア 能見明里	42
10	19	まるで万華鏡!? ～性の多様性理解とセクシャル・マイノリティ～	NPO法人PROUD LIFE 代表理事 安間優希	41
10	26	災害時に私たちができること	NPO法人レスキューストックヤード 事務局次長 松永鎌矢	44
1	3	べにしだ祭 ～ボランティア体験～	べにしだの家 職員	13
1	26	指はなくても夢はつかめる ～幸せの障害をつくらない人生観とは～(交流会)	シンガーソングライター HI-D	38 (39)

④ ボランティアグループの育成(サークル助成金)

月	日	助成団体	活動回数	助成金額
5	21	同朋大学心身障害福祉研究会・新池子どもクラブボランティア 南山大学ボランティアサークル・名古屋学芸大学短大部Tears 相山女学園大学うえるかむ・なないろコンサート	療育援助事業及びボランティア育成事業に計上	各サークル 20,000円
10	30	同朋大学心身障害福祉研究会・新池子どもクラブボランティア 南山大学ボランティアサークル・名古屋学芸大学短大部Tears 相山女学園大学うえるかむ・なないろコンサート	療育援助事業及びボランティア育成事業に計上	各サークル 20,000円

⑤ ボランティア受入状況(行事参加等も含む)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
さわらび園	11	21	37	65	6	19	19	26	43	27	69	33	376
わらび福祉園	2	4	5	2	1	0	112	0	0	1	4	2	133
べにしだの家	0	11	0	0	66	0	0	88	2	4	0	6	177
あらくさ作業室	2	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	1	15
れいんぼうワークス	6	87	10	9	12	11	13	10	11	6	6	13	194
計	21	124	53	77	87	31	145	126	57	39	80	55	895

⑥ 学校実習・体験実習(障がいのある方等の受入れは除く)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
さわらび園	4	12	43	28	12	67	36	10	12	0	32	45	301
わらび福祉園	6	0	30	2	0	24	20	0	0	0	0	0	82
べにしだの家	7	1	34	78	50	76	54	45	47	26	68	69	555
あらくさ作業室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
れいんぼうワークス	0	0	0	0	28	15	30	70	24	0	0	1	168
計	17	13	107	108	90	182	140	125	83	26	100	115	1106

ウ) 地域啓発事業

心身障害問題をはじめ、福祉活動に地域住民が直接参加し、また学ぶ機会を持つことによりコミュニティ・ケアの担い手となる人々の輪が広がっていくよう働きかけを行った。

① 機関誌『療育援助』の発行(月1回) 発行回数12回 発行部数 毎回1,500部

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
配布数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
郵送数	426	426	424	424	422	420	420	420	428	422	422	419	5073
手渡数	950	800	800	800	800	850	800	800	790	800	800	800	10590

② 第54回心身障害問題を考える集い

「誰もが生きやすい社会の実現に向けて」愛知淑徳大学記念講堂

	テ ー マ	講 師 (敬称略)	参加人数
7月9日	誰もが生きやすい社会の実現に向けて (講演)「無縁社会から共生社会への転換」 ～障害差別解消法がもたらすパラダイムシフト～ (鼎談)「誰もが生きやすい社会とは」	毎日新聞社論説委員 野澤和弘 愛知淑徳大学 学長 島田修三 椋山女学園大学 准教授 手嶋雅史	113

③ 第10回フォーラムあさみどり

	テ ー マ	講 師 (敬称略)	参加人数
5月22日	福祉の未来を拓くみなさんへ ～昭和の福祉、平成の福祉に学び これからの福祉を考える～	あさみどりの会顧問 島崎春樹	105

- ④ れいんぼう祭(5月29日 ボラ87名)
- ⑤ しんいけ盆おどり(7月23日 さわらび園 ボラ49名)
- ⑥ べにしだ盆踊り(8月9日 ボラ55名)
- ⑦ さわらび運動会(10月9日 会場:さわらび園横どんぐり広場 ボラ5名:雨天)
- ⑧ わらび秋まつり(10月8日 ボラ112名)
- ⑨ べにしだ祭(11月3日 ボラ84名)
- ⑩ あらくさ(パン)バザー(11月19日 ボラ0名)
- ⑪ さわらび祭(2月11日 ボラ56名)

⑫ しんいけ子どもクラブ(年間10回 延べ13日 参加人数294名、ボラ49名)

月	日	テ ー マ	参加人数	ボラ参加数
4	17	オリエンテーション	44	4
5	15	しんいけKITCHEN	34	7
6	26	デイキャンプ	44	11
7	10	キャンプ説明会	16	0
7	28	わいわいキャンプ(～7/31)	24	3
9	11	キャンプ報告会	20	0
11	27	わいわいゴミ拾い	22	7
12	25	X'mas会	33	7
1	15	つくって、あそぼ♥2017	28	3
3	12	お別れ遠足	29	7

⑬ 施設の地域解放

施設	利用団体	回数
さわらび園	バイオリン教室、町内会	31
わらび福祉園	町内会	1
べにしだの家	成年後見法人「蒼の会」、地域町内会、地域団体、ボーイスカウト、音楽グループ等	42

⑭ らいぶ遊(年間5回 べにしだの家 参加328名、うちボラ118名)

月	日	テ ー マ	参加人数	ボラ参加数
5	8	混ぜこぜ音楽祭	107	47
7	30	混ぜこぜ音楽祭	63	21
9	17	混ぜこぜ音楽祭	56	22
12	18	クリスマス会	47	13
2	25	混ぜこぜ音楽祭	55	15

⑮ 障がいのある方の生活を支える支援者養成講座（全3回・受講者全32名）

		テーマ	場所・講師	参加人数
9	3	第5回障がいのある方の生活を支える支援者養成講座	べにしだ共同生活援助事業所職員	16
11	19	第2回障がいのある方の生活を支える支援者養成講座	れいんぼう共同生活援助事業所職員	10
12	3	第5回障がいのある方の生活を支える支援者養成講座	わらび共同生活援助事業所職員	8

エ) 野外活動事業

あさみどりの会研修所「郡上山の家」の運営を通して、人間と自然とのふれあい、合宿による人間同士のふれあいを通して真の人間性の回復をはかった。（詳細は事業所報告参照）

さわらび園親子療育キャンプ／わらび福祉園山の家合宿／あらくさ作業山の家合宿／れいんぼうワークス山の家合宿
りとり・ジョイフル親子療育キャンプ／新池子どもクラブ・サマーキャンプ／学童合宿

オ) 家族の支援活動

障害をもった子どもの生涯の幸せを願って、計画的に活動する保護者のグループを支援した。5月22日後援会役員会にて各グループの情報交換を行った。又、各事業所で「きょうだい会」年2回（うち1回は成人施設合同）等を行い、家族との交流をはかった。

(3) 職員研修

①法人全体研修

- ア) 4月9日（さわらび園 79人参加）
 - I) 講演：精霊の守人は何を戦いとったのか（後藤理事長）
 - II) 法人の歴史・理念・諸規定の改定（島崎顧問）
 - III) I)の理事長の話をもとにグループ討議。
- イ) 9月10日（べにしだの家 80人参加）
 - I) 事例研修と事例検討（後藤理事長）
 - II) 各事業所代表による事例発表

②法人が主催または後援する啓発事業参加

フォーラムあさみどり、心身障害者問題を考える集い、あさみどりワークショップ、ボランティアスクール等職員研修の一環として、職員の参加を勧めた。

③初級職員研修（7月2日 さわらび園 14人参加）

内容：事業発表（さわらび園対象職員による）およびグループ活動（物語作成）と発表

④ホーム新人世話人研修（5月14日）

内容：講義（事業所および業務の説明・てんかんとは？AEDの使い方）

⑤4年目研修（実施者なし）

⑥中・上級職員研修（全3回）

- 10月1日（べにしだの家・14人）内容：講義・グループ討議 障害者差別解消法における合理的配慮・権利擁護（指山女子大学 手嶋雅史氏）
- 10月2日（べにしだの家・10人）内容：講義・実習 風景更生法による理解（愛知淑徳大学教授 後藤秀爾氏）
- 11月20日（べにしだの家・20人）内容：講義 アンガーマネジメント（愛知淑徳大学教授 後藤秀爾氏）

⑦インシデント さわらび園 8回開催（豊田西病院医師小野宏氏）

⑧自主研修（10人実施：ワークショップへの参加）

⑨各施設における研修活動 各事業所報告等参照

⑩外部研修への参加 各事業所報告等参照

⑪社会福祉士・介護福祉士の資格取得の奨励 1名

(4) 苦情処理状況

法人経営の各施設・事業の提供する福祉サービスに対する苦情処理については、平成13年施行の「福祉サービスに関する苦情解決規程」により処理することとしているが、その場で解決するものについてはこの規程を適用せず、関係者に伝達し協議する必要があるものは「苦情処理票」によって処理することとしてきた。平成27年度に、苦情処理票により処理をした件数は下記のとおりである。

		さわらび	わらび	べにしだ	れいんぼう
苦情処理票等により処理した件数		0	3	4	0
申出者	利用者本人	0	0	0	0
	利用者の家族	0	1	3	1
	近隣住民・その他	0	2	1	0
内容	利用者に対する職員の対応	0	0	3	0
	利用者に対するサービス向上	0	0	0	0
	利用者の生活環境の改善	0	0	0	0
	施設・事業運営に対する不満	0	2	1	0
	その他	0	1	0	1
方法	職員・施設長と解決策を協議	0	3	2	0
	要望どおり解決できないことを説明	0	0	1	1
結果	解決の方法・内容に納得した	0	3	2	1
	解決の方法・内容に不満がある	0	0	1	0
	処理結果を職員に周知する	1	3	4	0

苦情処理した件数はさわらび園については0件、べにしだの家4件、わらび福祉園3件、れいんぼうワークスは1件であった。

申し出の内容について、わらび福祉園のうち2件は、近隣住人よりグループホーム増築の工事車両による粉塵及び通常より駐車場から舞い込む粉塵の苦情で、現状を確認し駐車場をアスファルト舗装とした。1件は利用者の家族から職員の運転状況についての報告、忠告といったものであり、該当職員に状況確認の上、注意すると共に安全講習へ参加させた。べにしだの家の4件のうち1件は、近隣住民と思われる方から保護者宛てに火災報知器が頻繁に鳴動することへの苦情、他は利用者間のトラブルの報告が遅れたことへの苦情、我が子主体の対応がなされないことへの不満、利用中の服薬確認に不備があったことの指摘（短期入所利用者家族）の3件。れいんぼうワークスの1件は、工賃が大幅に下がったことへのご意見だった。事前に繰り返し保護者会で工賃の見直しをしていることなど案内していたことを再度説明させていただき、またご本人の今後とも1年ごとに工賃を見直していくことをお伝えし納得していただいた。

各施設とも苦情処理票によらない苦情についても職員に周知し、同様の問題が起きないように対処していくとともに、ヒヤリハット等の取り組みも継続していきながら、職員一人ひとりの意識向上を図っている。

1. 総括

【さわらび園】

児童発達支援事業については年度当初の園児在籍が4月1日時点で29名スタートであったが、4月半ばで30名に達する。職員配置に関しては、4月採用の職員1名が一身上の都合により4月中に退職したため、9月まで正規職員1名欠員の状態で療育を進めることになった。10月からはれいんぼうワークスから1名転勤してきて、職員配置が整った。園児については、28年度は12名が就学を迎え、6名が就園につながり、園児の半数以上が卒退園になった。何年か通った年長児とその保護者が多かったこともあり、年間を通した療育の流れは、内容的にも、人間関係の面でも比較的安定していたと思う。

その他の事業については、在籍（契約数）及び内容等堅調に推移した1年となった。特に放課後等デイでは、新たな試みとして外部から講師を招いてダンス（ヒップホップ）を実施した。参加児童も意欲的に取り組む状況が見られ、次年度につながる手応えを感じることができた。また、訪問支援に関しては、厚生労働省の障害者総合福祉推進事業としてCDSJ（全国児童発達支援協議会）が委託した「保育所等訪問支援の効果的な実施等に関する調査研究」に協力して、中部圏域の代表として、その調査研究のヒアリングに訪問支援員を派遣した。その調査報告書が次年度の初めには出来上がる予定で、今後訪問支援を進めていく上でのきちんとしたガイドラインが国から示されるものと思われる。

【べにしだの家】

28年度は、①最高齢（74歳）の男性利用者がグループホームでの食事中的誤嚥により救急搬送された件、②帰省中に重責発作を起こした女性利用者が、その後の長期臥床の影響（廃用症候群）により介護度が進行した件、③アルツハイマー型認知症の確定診断が3名の方にされた件、といった「高齢、介護、医療」にかかわる出来事が頻発した。①の方は入院後に気管切開の処置がなされ、意識が回復しないまま現在に至っている。②の方は総体的なADLの低下から転倒のリスクが増し、付き添い、見守り対応を手厚くすると共に、日常のリハビリを外部の機関の協力も得ながら実施している。③はいずれの方も現状は濃密な介護が必要な状態ではなく、これまでと変わらない生活を送られているが、今後の変化やそれに伴う支援の見通しについては不確定な部分が多い。

これまでに経験のない状態像が現れ、現場職員は戸惑いと不安を抱えながら支援にあたっている。グループホームやあらくさ作業室も含めて、今後も時には急激に、総体的にはより増加していくであろう加齢に伴う変化の予測を踏まえつつ、将来に向けた支援技術、知識のスキルアップ、支援体制の構築、日中活動の再編、居住環境の整備等、ソフト・ハード両面に亘る高齢化対策は山積しており、継続的に取り組んでいく必要を改めて感じている。

職員の発案により植物栽培装置「おあしすくん」を旧茶房遊の中に設置した。まだ十分な見通しは立っていないが、軌道に乗っていけば装置を核とした新たな地域交流の場として、また、日中活動の活性化とモチベーションの向上、更に広く多様な外部機関との交流や連携等、高齢化対策も含めて様々な可能性を秘めており、有効に活用していくための検討を重ねていきたい。

利用状況としては年度末の時点で生活介護定員70名に対し68名、入所支援定員30名に対し25名、グループホーム定員42名に対し38名といずれも定員を満たしていない状況である。あさみどりの理念、べにしだの設置目的に照らしつつ、新規利用者の受け入れを意識していきたい。

【わらび福祉園】

わらび福祉園の隣地にある「風の家」を増築し、1階部分を「風の家Ⅰ」、2階部分を「風の家Ⅱ」とし、ある程度の介護設備を備え、車椅子で行き来できる高齢化対応のホームとした。現状はまだそこまでの設備を必要とされている方はみえない。しかし、今からの予防が大切であろうと考え、ハード面だけではなく嚥下・咀嚼についての勉強会を催したり、身体を動かす機会を増やすことを意識した。ご家族の状態像も変わりつつある。28年度内で3名の親御様がお亡くなりになり、多数の親御様が医療機関との連携を必要としている。その影響で週末のグループホーム利用者も増え、それに対応するため地域の有期契約職員に頼る部分が増加してきた。そこで、暮らしやすい地域づくりができるよう、居宅介護事業をはじめ、みよし市障がい者自立支援協議会や様々な団体が集ま

り居場所作りを考える活動等、地域との連携をより強化した。ただし職員の体制上、みよし市からの委託の相談支援は市と協議し28年度は縮小化を図った。

日中の活動としては生活介護が定員を大きく上回り、就労系の事業が定員を割っている。そのような中、新規の作業も増加したこともあり2年ぶりに売上が増加となり、利用者ボーナスに反映することが出来た。ただし、就労移行支援に関してはこの2年で希望者が1名という状況なので、市内で他の就労移行支援事業所が立ち上がったなら撤退をする方向で話を進めている。

【れいんぼうワークス】

15年目を迎えたれいんぼうワークスでは、10月から1月にかけて大規模な外壁改修工事と併せて虹の家Ⅰ、Ⅱの外壁の一部改修を行った。また急遽年度内に補助金をいただけることになり、虹の家Ⅰ、Ⅱのスプリンクラー設置工事および自動火災通報装置工事を2月～3月に実施した。

作業室では、押入れをリフォームして更衣室を増設したり、消音タイプのパーテーションを設置し、利用者の特性に配慮した作業環境の改善を行った。農業は無農薬、無肥料栽培に少しずつ移行しているが、まだ手探りの部分も多い。ほかに新たな日中活動として、音楽療法を取り入れたほか、愛西市保健所においてブラッシング指導を開始した(年4回訪問)。3月末に経年劣化によるドライクリーニング機の故障が発生。今後新しく機械を導入するかしないか等日中活動全体の方向性を検討する必要があるが出てきている。

また10月に7年ぶりに親子一泊旅行(浜松方面)に出かけ、親子、職員と親睦を図った。

共同生活援助事業所では、5軒のホーム全てにわたって利用者の部屋替えを初めて行った。利用者にとっての暮らしやすさを重点に置き、引越にあたってはホームごとに写真を使って説明会をするなどし、スムーズに引越ができた。今後は金曜泊に向けて体制作りを進めていく。

2. さわらび園の事業状況

(1) 障害児通所支援事業

1) 児童発達支援事業(園児) *28年度は県(市外)の児童の利用はなかったので市のみ掲載

①利用状況

○年齢・男女別(中途退園・入園を含む)

学年齢		1才	2才	3才	4才	5才	小計	総計
市	男	0	0	9	5	7	21	31
	女	0	0	2	3	5	10	
計		0	0	11	8	12	31	31

○月初日在籍数・開所日数・利用延べ人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍	29	30	30	30	30	30	30	30	30	30	31	31	
日数	18	19	20	19	16	18	19	18	17	18	17	16	215
人数	502	495	529	482	201	463	515	428	454	474	474	389	5406

○主な障害 <ASD=自閉スペクトラム症>

障害名	男	女	計
ASD	19	7	26
知的障害	0	2	2
てんかん	1	1	2
ADHD	1	0	1

○通園区域別

名古屋市							
通園区域	人数	通園区域	人数	通園区域	人数	通園区域	人数
千種区	18	名東区	11	東区	1	中村区	1

○K式発達検査実施状況(検査実施児童のみ)

DQ	20以下	21~35	36~50	51~74	75以上
人数	2	2	5	9	6

②28年度新入園児状況<途中入園も含む>

○年齢・男女別

学年齢		1才	2才	3才	4才	5才	小計	総計
市	男	0	0	5	1	0	6	6
	女	0	0	0	0	0	0	
計		0	0	5	1	0	6	6

○主な障害

障害名	男	女	計
ASD	4	0	4
ADHD	1	0	1
てんかん	1	0	1

③28年度卒退園児状況（進路先・男女別）

進路先		特別支援学級	特別支援学校	幼稚園	保育園	小計	総計
市	男	7	0	2	3	12	18
	女	5	0	1	0	6	
計		12	0	3	3	18	18

④主な実施行事

4月		5月		6月	
4日	入園式・第1期始業式	9日	新入園児歓迎会	4～5日	宿泊療育②
28日	こどもの日行事	20日	春の遠足(東山動物園)	19日	父親参観日
		28～29日	宿泊療育①	21日	健康診断
7月		8月		9月	
6日	七夕行事 夏期療育	18日～21日	親子療育キャンプ①		
		25日～28日	親子療育キャンプ②		
10月		11月		12月	
9日	さわらび運動会	5～6日	宿泊療育①	1・6日	わらび福祉園見学
14日	第2期始業式	12～13日	宿泊療育②	12日	人形劇
28日	秋の遠足	29日	健康診断	24日	クリスマス会
30日	父親参観日				
1月		2月		3月	
29日	節分行事	11日	さわらび祭	4日	学習発表会
				13日	お別れティーパーティー
				19日	卒園式・母親送別会
				23日	第2期終業式

*その他：誕生会・母親研修会・歯科検診/月1回

<主な行事の参加状況>

ア) 親子宿泊療育<さわらび園にて実施>

○春の宿泊療育参加状況

第1回目 5/28(土)～29(日)

- ・参加対象：ぞう・パンダG
- ・参加母子：園児15名/母親15名
- ・その他：兄弟0名/ボランティア2名
- ・職員：13名 <総数45名>

第2回目 6/4(土)～5(日)

- ・参加対象：きりん・コアラG
- ・参加母子：園児15名/母親15名
- ・その他：兄弟1名/ボランティア：4名
- ・職員：12名 <総数47名>

○秋の宿泊療育参加状況

第1回目 11/5(土)～6(日)

- ・参加対象：ぞう・パンダG
- ・参加母子：園児15名/母親9名
- ・その他：ボランティア3名
- ・職員：14名 <総数41名>

第2回目 11/12(土)～13(日)

- ・参加対象：きりん・コアラG
- ・参加母子：園児15名/母親7名
- ・その他：ボランティア1名/実習生0名
- ・職員：14名 <総数37名>

イ) さわらび親子療育キャンプ<岐阜県郡上市大和町小間見545「郡上山の家」にて>

- ・日時：第1キャンプ 8/18(木)～21(日)・第2キャンプ 8/25(木)～28(日)
- ・保護者研修：(第1キャンプ) 追分伸夫氏 / (第2キャンプ) 熊谷かの子氏

・参加状況

	園児	母親	父親	兄弟	Vo	職員	その他	計
第1	8	8	8	3	24	11	0	62
第2	14	14	9	7	26	13	0	83
計	22	22	17	10	50	24	0	145

⑤保護者の学習

○母親の学習

・母親グループカウンセリング

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	7	8	9	4	4	7	4	6	4	6	5	4	68
延人数	91	99	114	44	42	81	44	72	43	61	59	53	803

・母親研修会（年10回） ・宿泊療育・キャンプ ・発達相談（園児実施／27名）

・ビデオによる療育説明（年4回実施）

○父親の学習

・父親参観日

6月19日（日）／参加人数：26名／療育参観及び職員との話し合い

10月30日（日）／参加人数：23名／講師：福田敏宏さん（H13年度卒園児父親）、高野祐子さん（H16年度卒園児父親）

・親子療育キャンプ父親研修

・フォーラムあさみどり（5月22日（日））

・各父親のグループ主催のイベント、学習会への参加

⑥その他（訪問による連携）

○アフターケア ・特別支援学級5回

2) 放課後等デイサービス事業

〈利用状況〉

○契約者数（年齢・男女別）

学年齢		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高3	計
市	男	1	0	4	4	2	2	5	4	0	3	1	35
	女	1	1	3	0	1	0	0	2	1	0	0	
県	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
計		2	1	7	4	3	2	6	6	1	3	1	36

○開所日数及び利用延べ人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日数	20	20	22	19	13	20	19	19	18	19	17	20	226
人数	43	56	63	54	64	55	48	48	54	57	36	56	634

3) 保育所等訪問支援事業

〈利用状況〉

○契約者数（年齢・男女別）

学年齢		3才	4才	5才	6才	計
市	男	2	2	3	1	12
	女	1	0	2	1	
県	男	0	0	0	0	0
	女	0	1	0	0	1
計		3	3	5	2	13

○月別訪問件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
訪問	7	16	26	16	5	16	19	18	15	15	17	16	186
事前/事後	6	0	0	3	0	2	0	4	4	0	0	9	28

○訪問先

訪問先	保育園	幼稚園	小学校
箇所数	6	1	1

(2) 障害児相談支援事業

【利用状況】

○契約者数（年齢・男女別）

学年齢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計	
市	男	0	0	13	8	10	14	11	8	6	3	2	3	1	0	79
	女	0	0	4	3	7	7	5	3	2	2	1	0	3	2	39
計	0	0	17	11	17	21	16	11	8	5	3	3	4	2	118	

○月別相談件数（基本相談及び事業所との連携）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
本計画	42	7	11	4	4	8	9	6	4	3	8	15	121
モニタリング	8	5	8	28	16	20	17	9	13	8	10	12	154

(3) 療育グループ事業

1) りとるぐるっぷの状況 *28年度利用者は45名。内、園児への移行は3名。入園決定後のグループ移行は、9名。

○年齢・男女別

学年齢	0才	1才	2才	3才	4才	5才	小計	総計
市	男	2	14	17	0	0	33	43
	女	1	4	5	0	0	10	
県	男	0	0	1	0	0	1	1
	女	0	0	0	0	0	0	
計	3	18	23	0	0	0	44	44

○月初日在籍数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
市	4	8	11	13	13	13	16	17	20	23	29	35
県	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
計	4	8	11	13	13	13	16	17	21	24	30	36

○通園区分（28年度利用者）

区域	人数	区域	人数	区域	人数	区域	人数	区域	人数
千種区	15	名東区	27	守山区	1	瑞穂区	1	岐阜市	1

○主な障害（28年度利用者）

障害名	市		県		計
	男	女	男	女	
ASD (疑い含む)	8	3	1	0	12
ADHD (疑い含む)	3	0	0	0	3
アスペルガー	1	0	0	0	1
言語発達遅滞	4	0	0	0	4
境界域	1	1	0	0	2
MR	1	0	0	0	1
ダウン症	4	0	0	0	4
不明	2	1	0	0	3
未受診	10	5	0	0	15
計	34	10	1	0	45

○療育回数及び出席延人数（8月はキャンプ：日数・参加人数／延べ）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	3	3	5	3	4	4	3	4	3	3	4	3	42
延人数	10	15	35	20	0	37	30	51	48	58	80	86	470

○母親グループカウンセリング（8月はキャンプ：回数・参加人数／延べ）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	0	1	1	0	2	1	1	1	1	1	1	1	11
延人数	0	4	7	0	0	9	10	11	15	18	9	12	95

2) 親子教室「ジョイフル」の状況 ※28年度利用者は33名。内、園児への移行は0名。

○年齢・男女別

学年齢		1才	2才	3才	4才	5才	小計	総計
市	男	0	0	6	7	6	19	30
	女	0	0	6	2	3	11	
県	男	0	0	1	0	0	1	2
	女	0	0	0	1	0	1	
計		0	0	13	10	9	32	32

○月初日在籍数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
市	34	34	35	34	33	34	32	30	29	30	30	29
県	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

○通園区分 (28年度利用者)

区域	人数	区域	人数	区域	人数	区域	人数
千種区	10	名東区	16	守山区	1	昭和区	1
瑞穂区	1	春日井市	1	長久手市	1		

○主な障害 (28年度利用者)

障害名	市		計
	男	女	
ASD・PDD	12	3	15
ADHD	0	2	2
知的障害	1	0	1
アスペルガー	2	0	2
境界域	2	1	3
発達遅滞	0	1	1
難聴	0	1	1
言語発達遅滞	1	0	1
運動発達遅滞	0	1	1
不明	3	2	5
計	0	0	32

○療育回数及び出席延人数 (8月はキャンプ：日数・参加人数/延べ)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	3	3	5	3	4	4	3	4	3	3	4	3	42
延人数	57	47	71	45	16	45	23	41	41	33	42	41	502

○母親グループカウンセリング (8月はキャンプ：回数・参加人数/延べ)

※28年度はペアレントトレーニングを実施。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	0	1	3	0	2	2	1	2	0	1	2	0	12
延人数	0	14	39	0	8	18	5	21	0	10	15	0	130

【年間実施行事 (りとるぐるうぷ(L)・親子教室ジョイフル(JA/JB))】

4月	5月	6月
13日 始業式 (L/JA) 15日 始業式 (L/JB) 27日 こどもの日行事		
7月	8月	9月
6日 七夕行事	4日～7日 親子療育キャンプ	
10月	11月	12月
9日 さわらび運動会 19日 第2期始業式(L)		21日 クリスマス会
1月	2月	3月
	1日 節分行事 11日 さわらび祭	15日 終業式(L/J)

【りとる・ジョイフル親子療育キャンプ参加状況】

日時：8/4(木)～7(日) 場所：岐阜県郡上市大和町小間見545郡上山の家 保護者研修：島崎徹也

参加者	児童	母親	父親	兄弟	Vo	実習生	職員	計
人数	4(学3)	4(学3)	4(学3)	6	17	4	12	53

3) 学童療育の状況

○年齢・男女別

学年		1	2	3	4	5	6	中1	中2	中3	小計	総計
市	男	9	4	9	7	4	7	4	5	0	49	67
	女	6	3	3	1	2	0	0	2	1	18	
県	男	0	0	1	1	0	0	1	0	0	3	4
	女	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
県外	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
		15	7	13	9	6	7	6	7	2	72	72

○28年度新規学童入所 ・名古屋市 15名

○療育及びグループカウンセリングの実施状況

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
療育	回数	1	6	6	1	4	5	8	2	3	6	3	1	46
	人数	48	35	42	14	12	17	45	9	39	33	45	29	368
G	回数	3	3	3	3	2	3	4	3	3	4	3	0	34
	人数	13	18	16	6	6	16	13	18	8	12	16	0	142

*8月は療育Gキャンプの数字

○学校種別 ・特別支援学級 48名・特別支援学校 8名・通常学級 16名

○その他 ・8/4～8/7療育Gキャンプに3名の学童が参加

・母親の会合宿(全9回/参加者:児童28名(一部は親子合宿)、職員派遣9名)

・小学生合宿 7/16(土)～18(月・祝)場所:郡上山の家 参加者:小学生7名、職員3名、ボランティアスタッフ1名

・中学生合宿 9/16(金)～19(月・祝)場所:郡上山の家 参加者:中学生9名、職員3名、ボランティアスタッフ1名

・新池子どもクラブ(月1回・年1回のキャンプ)に3名の児童が参加

・学童療育母親学習会 2/16(木)

「自立生活に向けて、今、必要なこと」

講師:嶋弘美氏(H13年度卒園)、幅尚子氏(H14年度卒園) 参加者:16名

(4) 職員研修及び職員派遣

1) 職員研修

○施設内研修(法人事業報告参照)

○施設外研修 児童発達支援施設現任職員研修会等・東海地区職員研究大会・全国職員研究大会等
名障連・名古屋市関係:専門研修・基礎研修・中堅職員研修・職種別研修・施設見学等
施設長研修:福祉協会関係・名古屋市及び社会福祉協議会関係・児童発達支援部会関係等

2) 職員派遣

○名東保健所(乳幼児発達相談):毎月第3水曜日午前/心理判定員(平野飛鳥)派遣

○千種保健所(親子教室):毎月第2火曜日午前/心理判定員(山本智恵)派遣

○コアラの会(千種区親の会):毎月第2木曜日午前/相談員(平野飛鳥)派遣

○千種区障害者自立支援協議会定例会及び子ども部会:毎月第2水曜日午前(・毎月第3火曜日午前運営会議)

○名東区障害者自立支援協議会 そだつ部会(児童部会):毎月1回

○父親のグループ(28年度)

・フォルテ(会員:9名/児童年齢:17～26才)…活動:例会・学習会等

・クラブヤジオ(会員:約18名/本人年齢:10～16才)…活動:例会・学習会等

・かたつむり(会員:約21名/本人年齢:6～9才)…活動:例会・学習会等

3. 成人各施設の事業状況

(1) 日中活動利用者状況 (平成29年3月31日現在)

1) 日中活動利用者

①年齢層・性別 < () は内65歳以上の利用者 >

	年 齢 層						性 別		計
	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上	男	女	
わらび福祉園	2	14	11	11	7	1	39	7	46
べにしだの家	1	5	30	43	5	4(1)	41	27(1)	68
れいんぼうワークス	0	9	13	1	0	0	17	6	23
計	3	28	54	55	12	5(1)	97	40(1)	137

②障害支援区分 < () は内65歳以上の利用者 >

	障 害 支 援 区 分						計
	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	未判定	
わらび福祉園	0	4	16	11	15	0	46
べにしだの家	0	8	20	19(1)	21	0	68
れいんぼうワークス	0	0	6	11	6	0	23
計	0	12	42	41(1)	42	0	137

2) 入所・共同生活援助事業利用者

①年齢層・性別 < () は内65歳以上の利用者 >

	年 齢 層						性 別		計
	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上	男	女	
わらび共同生活援助事業所	0	0	8	10	7	1	24	3	26
べにしだの家 (施設入所支援)	0	2	8	9	3	3(1)	15	10(1)	25
べにしだ共同生活援助事業所	1	1	18	16	2	1	24	15	39
れいんぼう共同生活援助事業所	0	12	17	1	0	0	21	9	30
計	1	15	51	36	12	5(1)	84	37(1)	120

②障害支援区分 < () は内65歳以上の利用者 >

	障 害 支 援 区 分 別						計
	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	未判定	
わらび共同生活	0	1	4	8	13		26
べにしだ入所	0	1	8	6(1)	10		25
べにしだ共同生活	1	2	12	7	17		39
れいんぼう共同生活	2	3	8	11	6		30
計	3	7	32	32(1)	46		120

(2) 月別利用状況

1) 日中活動 (一日の平均利用状況: 小数点以下切り捨て)

【わらび福祉園】

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
生活介護(定員32名)	38	37	39	37	37	38	37	38	37	36	36	38	37
就労移行(定員6名)	1	1	1	0	1	1	0	1	1	1	1	1	1
就労継続B(定員10名)	4	3	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3

【べにしだの家】

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	22	23	23	22	21	23	22	23	21	21	21	24	266
生活介護(定員70名)	65	65	67	65	65	66	66	65	65	65	64	65	65

【れいんぼうワークス】

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	22	23	23	21	23	23	23	23	22	22	21	23	269
生活介護(定員20名)	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22

2) 入所・共同生活援助（一日の平均利用状況：小数点以下切り捨て）

【わらび福祉園】

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
共同生活援助(定員26名)	21	19	21	20	20	21	20	21	22	18	20	21	20

【べにしだの家】

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
施設入所(定員30名)	23	23	23	22	21	23	23	23	23	22	23	23	23
共同生活援助(定員42名)	33	32	33	32	30	32	32	33	29	29	32	33	32

【れいんぼうワークス】

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
共同生活援助(定員30名)	20	20	22	19	21	21	21	21	20	20	21	21	21

3) 日中一時・短期入所（月毎延べ利用者数）

【わらび福祉園】

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日中一時(定員5名)	5	0	1	18	48	1	0	0	17	9	7	18	124

【べにしだの家】

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日中一時(定員4名)	27	38	31	36	58	33	25	17	14	9	19	33	340
短期入所(定員4+空床) ※1月より定員2+空床	113	135	143	134	111	135	132	5	2	92	107	114	1223

【れいんぼうワークス】

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日中一時(定員5名)	12	12	12	12	15	9	12	11	11	14	6	8	134

(3) 相談支援事業

【わらび福祉園】（延べ件数）

種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	種別													
委託事業	アセスメント	0	0	0	0	2	1	1	1	0	0	2	3	10
	モニタリング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5
	個別支援会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自立支援協議会参加	0	1	1	3	2	4	2	0	3	0	1	0	17
	調定調査意向調査	1	0	1	0	0	2	0	0	1	0	0	5	10
サービス等利用計画	サービス等利用計画	0	0	0	0	3	8	1	7	3	4	4	8	38
	サービス等利用計画モニタリング	0	0	0	0	0	0	5	7	4	4	2	6	28
	支援区分認定調査	0	0	1	1	0	3	1	2	1	2	3	0	0
	計	1	1	2	3	7	15	9	15	11	8	9	27	108

【べにしだの家】（延べ件数）

種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
種別	種別													
アセスメント	1	5	9	7	5	16	4	9	11	7	17	13	104	
ケアプラン作成	19	1	5	9	6	5	18	4	9	10	7	17	110	
モニタリング	9	14	19	20	14	22	8	12	19	23	9	20	189	
個別支援会議	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3	
自立支援協議会参加	1	1	1	3	1	1	2	1	2	1	3	2	19	
調定調査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	31	21	34	40	26	44	32	27	41	41	36	52	425	

(4) 居宅介護事業

【わらび福祉園】 月別利用人数（人） 年間売上 14,957,592円（前年比-546,021円）

種別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
種別	種別													
障害福祉サービス	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6	7	82
移動支援	52	53	54	57	51	50	54	50	52	49	46	51	619	
小計	58	60	61	64	58	57	61	57	59	56	52	58	701	

(5) 作業実績

1) 作業室別・業者別売上

* () 内は前年度増減比 / (単位: 円)

【わらび福祉園】

第1作業室 / 単能盤による金属加工他		第2作業室 / 手作業で部品等の組付作業		第3作業室 / 焼き菓子の自主生産		合計
業者	売上	業者	売上	業者	売上	
村上製作所	4,931,285	三好化工	1,060,059	お祭り等	193,250	8,048,301 (+503,150)
ウェルビコ	321,732	IRT	411,156			
中部精工	695,085	塚本製作所	113,589			
塚本製作所	113,589	イヌヨ製菓	109,900			
みよし西一色区	8,500	自主製品	72,036			
		野菜	18,120			
	6,070,191 (+162,206)		1,694,704 (+149,038)		193,250 (+101,750)	

【べにしだの家】

第1作業室 / クリーニング・自動車部品検査		第2作業室 / 自動車部品検査		第3作業室 / 自動車部品組付		ゆう作業室 心身機能の維持増進
業者	売上	業者	売上	業者	売上	
クリーニング(一般他)	3,414,374	そうぎょう	1,008,307	三好化工	402,948	
ケイアイ加工	59,425					
	3,473,799		1,008,307		402,948	合計
あらわい作業室 / 箱折り・自動車部品検査		あらくさ作業室 / 製パン・自動車部品検査等		その他		7,808,390 (-458,096)
業者	売上	業者	売上	業者	売上	
岩田紙器	274,142	製パン	1,744,431	野菜販売	8,300	
そうぎょう	168,690	その他作業	646,308	トイカベル、分解作業等	19,394	
ケイアイ加工	58,727			中部精工	3,344	
	501,559		2,390,739		31,038	

【れいんぼうワークス】

第1作業室 / クリーニング		第2作業室 / 部品等の組付・検品作業		第3作業室 / 農作物生産・販売		合計
業者	売上	業者	売上	業者	売上	
信濃工業	260,350	そうぎょう	769,012	マザーキッチン	36,655	2,238,631 (-142,116)
中部三菱自動車	11,934	吉田段ボール	38,960	学童オーナー	30,000	
一般	411,394	刺繍製品	141,250	祭等イベント	47,550	
公共関係	228,188	加賀悦商店他	21,703	その他一般	241,635	
	911,866 (-81,922)		970,925 (-32,516)		355,840 (-27,678)	

2) 工賃

	わらび福祉園	べにしだの家	れいんぼうワークス
平成28年度工賃支給総額	6,409,352	6,362,550	1,747,010
1人あたり支給月額 () 内前年比	11,611 (-611)	7,634 (-264)	6,329 (+1,240)
	*昨年度は売上外の補助有り		
最高支給月額	42,541	15,600	7,470
〃 年額	497,390	21,390	97,320
最低支給月額 〃	687	0	2,320
〃 年額	24,830	37,400	50,320

※ 年額には、年2回の賞与が含まれている。

(6) 各施設活動状況

わらび福祉園

1) 主な年間行事・活動

月	内 容
5月	9～11日：郡上山の家合宿①（利用者9名）16日：支援者養成講座（初級）（参加者10名） 16～18日：郡上山の家合宿②（利用者10名）23～25日：郡上山の家合宿③（利用者12名） 30～1日：郡上山の家合宿④（利用者13名）
6月	11日：父親懇談会（父親19名）
7月	3日：「みんなの運動会」（愛知学院大）（利用者31名・家族3名）
8月	12日：そうめんパーティー（利用者40名）13～16日：夏期休暇
10月	8日：わらび秋まつり 28～29日：親子一泊旅行①（研修込み／長野／利用者13名・家族11名）
11月	4～5日：親子一泊旅行②（研修込み／長野／利用者15名・家族11名） 11～12日：親子一泊旅行③（研修込み／長野／利用者11名・家族11名）
12月	5日：支援者養成講座（初級／参加者8名）10日父親懇親会（父親11名） 28日：納会（利用者36名）29日～1月3日：年末年始休暇
1月	14日：成人の祝い（フォレストヒルズ／利用者26名・家族2名）
3月	27日：保護者会総会

*その他：誕生会・親学習会・ブラッシング／約月1回

2) 健康管理

- ・健康チェック（看護師／毎週月曜日：体温・脈拍・血圧等／毎月第1月曜日：体重測定）
- ・予防接種（宇田クリニック／インフルエンザ希望者接種） ・口腔ケア（野々山歯科／毎月1回ブラッシング指導他）

3) 生活実習（プレホーム体験）

場所：わらび共同生活援助事業所

期 間	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数	1	2	2	2	2	0	0	0	0	2	2	1	14

4) 保護者との連携

- 班別研修…全体を3班に分け、年に3回1班ずつ学習会に参加する。毎月の学習会は、午前はビデオまたはスライドを使用し、管理者が障害福祉に関する情報提供を行い、午後は、宇田ファミリークリニック医師による勉強会を行った。
- 個別相談…①嘱託医相談 ②随時個別相談に依っている。
- 自主活動…親の会を組織して活動するとともに、さわらび祭・わらび秋まつりのバザー出品のためにバザー班・フード班2班に分かれ手作りを製作して施設運営の援助にあたっている。園からの情報提供、親たちの自由な意見交換を行う場として「ラポールの会」を設けている。

5) 職員の活動

- 施設内各種会議の開催
 - ①スタッフ打ち合わせ（毎日：日中－利用者帰宅後に本日のケース等確認・明日の予定確認等グループホーム利用者受け入れ前に日中よりの申し送り・シフト確認等）
 - ②ケース会議（随時：インシデントプロセス法を用いて） ③全体会議（月1回：職員全員で運営方針検討・行事計画事業執行などを協議）
 - ④施設長・主事会議（月1回：園長・主任・サビ管・各作業室チーフでその時々の指針等確認）
 - ⑤プロジェクト会議（月1回：共同生活事業所総合管理責任者・園長・世話人で生活事業所運営・行事等確認）
 - ⑥世話人会議（毎火曜日：シフト等確認） ⑦工賃査定会議（年2回：日中スタッフ）
- 法人主催で行われる職員全体研修、リーダー研修、ケースカンファレンスに参加した。
- 知的障害者福祉協会・社会就労センター協議会・社会福祉協議会等が主催する研修会に参加した。
日本グループホーム学会研修会／（6月：沖縄2名）全国知的障害関係施設長等会議（6月：横浜1名）
東海地区知的障害関係施設職員研究協議会（7月：岐阜2名）／全国グループホーム・ケアホーム等研修会（7月：福岡2名）
全国知的障害福祉関係職員研究大会（9月：北海道2名）／サービス管理責任者等指導者養成研究会（9月：埼玉1名）
中堅研修（9月：知多2名）／地域支援セミナー（11月：千葉1名）／愛知県知的障害関係施設職員研究大会（2月：豊橋3名）

6) 学生等の実習受け入れ等

a. ボランティアの受入状況

(延べ人数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	2	4	5	2	1	0	112	0	0	1	4	2	133

b. 実習・見学等

(延べ人数)

種別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特別支援学校等作業実習	0	0	9	1	0	9	0	0	5	7	13	0	44
小・中・高生体験学習	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	9
大学・専門学校等実習	6	0	30	2	0	24	20	0	0	0	0	0	82
見学者	2	0	4	16	14	13	12	9	31	13	5	15	134

※体験・実習校……東海学園大学、名古屋女子大、東海医療福祉専門学校、三好北中学校、三好特別支援学校学校

c. 地域交流 イベントの開催：わらび秋まつり／地域のお祭りへの参加：三好下区祭・産業フェスタみよし

7) ヒヤリハット・事故・虐待・不適切対応

※生活場面で起こる様々なリスクの可能性も予測しつつ、引き続き積極的な報告提出を奨励している。

種別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
服薬関連	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	4
転倒・転落・衝突	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
自傷	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
他害・物損	2	0	0	1	0	1	0	1	2	0	1	0	8
放置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無断外出・見逃し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
異食・誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浴室内の危険	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体拘束	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他不適切対応	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
計	4	0	4	1	2	1	1	3	2	0	1	0	19

べにしだの家

1) 主な年間行事・活動

月	内 容
4月	2日：うま 16日：土曜活動/うま/あらくさパンバザー 20日：利用者健康診断
5月	8日：らいぶ游 14日：うま 21日：土曜活動/うま/あらくさパンバザー
6月	4日：うま 8～10日：山の家合宿(利用者7名) 18日：土曜活動/うま/あらくさパンバザー/第44回自立をすすめる会(14名)
7月	2日：うま 16日：土曜活動/うま/あらくさ父親参観 30日：らいぶ游
8月	6日：うま 12日：べにしだ盆踊り 12～16日：夏期休日 22日：土曜活動/うま/あらくさレク
9月	3日：うま/ホーム支援者養成講座 6日：日帰り旅行①(長島：利用者6名) 7～9日：あらくさ山の家合宿(利用者6名) 13日：日帰り旅行②(長島：利用者2名) 17日：土曜活動/うま/あらくさパンバザー/らいぶ游 19日：ホーム家族懇談会 20日：日帰り旅行③(長浜：利用者7名)
10月	6～7日：一泊旅行①(恵那：利用者7名) 12日：利用者健康診断 15日：土曜活動/うま/あらくさパンバザー 20～21日：一泊旅行②(恵那：利用者5名) 28日：あらくさ日帰り旅行(豊橋：利用者11名)
11月	3日：べにしだ祭 5日：うま 10～11日：一泊旅行③(恵那：利用者8名) 17～18日：一泊旅行④(USJ：利用者7名) 19日：土曜活動/あらくさバザー/第44回自立をすすめる会(15名)
12月	1～2日：一泊旅行⑤(USJ：利用者7名) 3日：うま 9日：母親懇親会 17日：クリスマス会/うま/あらくさパンバザー 18日：らいぶ游 28日：納会・御用納め 29～31日：年末休暇
1月	1～3日：年始休暇 4日：仕事始め 7日：うま 21日：土曜活動/うま/べにしだきょうだい会(きょうだい・家族8名)
2月	4日：うま 18日：土曜活動/うま/あらくさパンバザー
3月	4日：うま 18日：土曜活動/うま/あらくさパンバザー

2) 健康管理

- * 血圧・体重測定(看護師)/随時
- * 健康相談(村上医院)/毎月1回
- * インフルエンザ予防接種(村上医院)/希望者接種
- * 健康診断(名古屋公衆医学研究所)/入所年2回・通所年1回
- * 訪問歯科診療(えびす歯科)/毎週金曜日
- * PT訪問(たわだリハビリクリニック・リハプロ訪問看護ステーション)利用者4名・1名個別指導

3) 生活実習（プレホーム体験）

*28年度は実施なし

期 間	4月	5月	6月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4) 保護者との連携

- a. 保護者会（毎月1回）
- b. 保護者学習会（2班で構成し、1班あたり年4回実施。）
- c. バザー活動（2班で構成し、1班あたり年8回実施。バザー出品のために手作り品を製作して施設運営の援助にあたっている。）
- d. 清掃当番活動（1回1名で生活棟の清掃。可能な方が減少し、1ヶ月延べ10～15名程度になっている。）
- e. 自立をすすめる会（年2回開催。父親同士が集まる活動を通して父親、職員相互の信頼と共感を深め、施設と協力して生涯の援助体制を確立していくために、事業の報告や障害者福祉の動向などについての学習と親睦の場として実施。）
- f. 母親懇親会（年1回開催。日常的な交流機会が減少しつつある中、母親との親睦をより深めていくために実施。）
- g. 特定非営利活動法人「蒼の会」との情報交換（会議への参加及び被後見人4名の生活状況の情報交換を定期的実施。）

5) 職員の活動

- a. 各種会議
 - ①毎日始業前の朝会（夜間の申し送り、一日の予定確認、指示事項等）
 - ②生活棟会議（南・北棟別に月1回開催）
 - ③生活棟チーム会議（入所支援のチームごと必要に応じ開催）
 - ④作業室会議（月1回各作業室のケース、作業状況の情報交換、課題整理）
 - ⑤ホームコーディネーター会議（各ホームの情報交換、課題整理）
 - ⑥運営会議（毎月1回、各部署のリーダーで総体的な情報共有、課題検討、調整）
 - ⑦虐待防止委員会（運営会議の中でヒヤリハット・事故・不適切対応報告書の整理と防止意識の共有）
 - ⑧ホームスタッフ会議及び本体スタッフ会議（毎月1回予定、決定事項の確認、伝達、情報交換、ケース検討等）
- b. 施設内研修
 - ①インシデントプロセス法勉強会（5名）
 - ②法人主催のフォーラムあさみどり、心身障害問題を考える集い、ワークショップ、ボランティアスクール等への参加
 - ③職員全体研修、経験年数別研修（初級/4年目/中級/上級）
- c. 施設外研修

福祉協会、名古屋市、名障連、社会福祉協議会等が主催する研修会への参加。

全国的障害関係施設長等会議（6月：横浜・1名）／救命救急研修（7月他：名古屋5名）

東海地区知的障害関係施設職員等研究協議会（7月：岐阜・1名）／権利擁護・障害者虐待防止関連の研修（5月他：名古屋他・5名）

全国的障害福祉関係職員研究大会（9月：札幌・1名）／愛知県知的障害関係施設職員研究大会（2月：豊橋・2名）

6) 地域との交流・学生等の実習受け入れ等

a. ボランティアの受け入れ状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
べにしだ	0	11	0	0	66	0	0	88	2	4	0	6	177
あらくさ	2	1	1	1	2	1	1	2	1	1	1	1	15

b. 実習・見学

(延べ人数)

種別 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特別支援学校等作業実習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小・中・高生体験学習	0	0	0	0	15	0	18	15	12	12	11	0	83
大学・専門学校等実習	7	1	10	53	35	76	19	30	35	14	57	69	406
見学者	0	0	4	0	4	73	10	4	0	6	3	1	105
	合計												594

※体験実習校・施設…同朋大学、日本福祉大学、東海医療福祉専門学校、愛知淑徳大学、愛知みずほ大学
東京福祉大学、名古屋女子大、名古屋芸術大学、岡崎短期大学、名古屋文化学園

※その他実習・研修…名古屋市新規職員研修、名古屋市障害福祉サービス事業新規参加者研修、豊橋ちぎり寮ヘルパー現任研修、(株)エーザイ

c. 地域交流等
①らいぶ・ゆう

参加者種別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害児・者	0	9	0	8	0	4	0	0	10	0	10	0	41
利用者家族	0	3	0	3	0	3	0	0	6	0	8	0	23
スタッフ	0	8	0	7	0	9	0	0	7	0	5	0	36
地域	0	43	0	28	0	26	0	0	13	0	19	0	129
その他	0	3	0	2	0	2	0	0	4	0	4	0	15
出演者	0	40	0	15	0	14	0	0	7	0	11	0	87
参加者計	0	106	0	63	0	58	0	0	47	0	57	0	331

②中村区民祭…10月22日（中村公園一帯） ③地域福祉講演会…1月28日（中村区役所講堂）

7) ヒヤリハット・事故・虐待・不適切対応

種別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
服薬関連	9	5	3	3	4	2	2	4	1	6	3	6	48
転倒・転落・衝突	2	1	5	4	1	1	1	1	2	2	0	4	24
自傷	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
他害・物損	0	1	1	4	0	0	2	1	0	0	0	0	9
放置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無断外出・見逃し	1	2	1	1	1	2	2	0	0	1	1	0	12
異食・誤嚥	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
浴室内の危険	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
身体拘束	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2
その他不適切対応	3	3	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	9
計	15	12	12	13	7	5	9	9	3	9	4	11	109

- ※ 生活場面で起こる様々なリスクの可能性も予測しつつ、引き続き積極的な報告提出を奨励している。
- ※ 報告件数は本体75件、ホーム34件の計109件。前年度との比較では本体は同数、ホームは8件増だった。
- ※ 身体拘束はいずれも利用者が高揚し、他害、物損、負傷に至る可能性があったためやむを得ず対応したもの。
- ※ その他不適切対応の内容は「職員が風で隣接店舗敷地に飛んだ洗濯物を拾いに行く際塀越しに飛び降り、足の親指を脱臼した件」「職員が机を運搬中に誤って落とし、足の指を負傷した件」「食事を他者のものと配膳ミスした件」「帰宅途中の利用者の信号無視を見かけた件」（以上本体）、「熱が上がりかけていたが様子が普段と変わらないため外出しその後39度まで上昇した件」「前歯が無くなっていた件」「補助具の未装着の件」（以上ホーム）等全9件。

れいんぼうワークス

1) 主な年間行事・活動

月	内 容
5月	14日：きょうだい会（きょうだい4名） 29日：第14回れいんぼう祭（ボラ80名）
6月	11日：施設内インシデント研修/小野先生（正職員14名参加） 18日：自立の会（父親16名母親2名） 22～24日：山の家合宿①（利用者7名） 29～7/1：山の家合宿②（利用者8名）
7月	6～8日：山の家合宿③（利用者9名） 14日：利用者歯科検診
8月	12日：家族交流会（利用者21名と家族26名） 13～16日：夏期休暇
9月	28日：愛西市ブラッシング指導開始（年4回）
10月	7日：海部津島地域福祉作業所連絡協議会交流会（利用者22名） 14～15日：親子一泊旅行/浜松方面（利用者24名 保護者23名）
11月	9日：音楽療法開始（以降月2回） 11日：津島北高バザー（野菜販売） 19日：支援者養成講座（参加者10名）
12月	2日：母親学習会/手嶋先生講演（参加者20名） 10日：れいんぼうきょうだい会（きょうだい5名） 28日：納会
1月	4日：仕事始め 7日：初詣（土曜活動） 13日：パート研修 28日：自立の会（父親23名母親1名）
2月	7日：母親新年会（母親9名）

2) 健康管理

- * 健康チェック（看護師/毎月2回：体温・体重測定記録の確認及び健康相談） * 予防接種（加賀医院/インフルエンザ希望者接種）
- * 健康診断・歯科検診（年1回） * ブラッシング指導（愛西市の歯科衛生士による指導/28年度から年4回訪問）

3) 保護者との連携

- 保護者会および研修：保護者会は毎月1回開催。母親学習会は年3回開催。
- 個別相談：嘱託医相談は予約により時間調整して行うよう計画。その他利用者の状況に応じて随時個別相談に応じている。
- 自主活動：親の会を組織して活動するとともに、れいんぼう祭のバザー出品のために手作りの品を製作して施設運営の援助にあたっている。
- 自立の会（28年度より虹の会と一体になる）：父親同士が集まる活動を通じて、父親、職員相互の信頼と共感を深め、施設と協力して生涯の援助体制を確立していくために、障害者福祉の動向などについての学習と親睦の場として実施。

4) 職員の活動

- 施設内においては、①毎日作業終了後の打合せ、②随時行うケース会議、③運営方針の確認・行事計画・事業執行などを協議する職員会議（月1回）④個別支援計画・モニタリング作成のアセスメントおよび計画策定会議を実施した。
- 法人主催で行われる職員全体研修、経験年数別研修、ケースカンファレンスに参加した。
- 施設内研修として、職員全員参加のインシデント研修を小野先生をお招きして実施した。
- 知的障害者福祉協会・社会就労センター協議会・社会福祉協議会等が主催する研修会に参加した。
自然栽培フォーラム（5月：豊田 2名）/県新規採用者研修（6月：名古屋 2名）/全国施設長会（6月：東京 1名）
グループホーム学会全国研修（6月：沖縄 1名）/全国グループホーム等研修会（7月：福岡 1名）
接遇研修（7月：名古屋 1名）/発達障害者支援研修（7月：名古屋1名）/全国障害福祉関係職員大会（9月：北海道 1名）
社会就労センター部会研修（9月：名古屋 1名）/中堅研修（10月：南知多 1名）/東海地区施設長会（9月：沼津 1名）
サービス管理責任者研修（8-11月： 1名）/視察研修（12月：西尾 2名）/権利擁護研修（2月：岡崎 1名）
福祉協会愛知県大会（2月：豊橋 2名）/自閉症支援研修（1月：名古屋 1名）/日中活動部会事例研修（3月：名古屋 1名）

5) 地域との交流・学生等の実習受け入れ等

ボランティアの受け入れ及びれいんぼう祭、畑などの野外活動を通して地域住民との関係も深まり、声をかけられたり、見守ってもらえる環境が増えてきている。今後も野菜販売の機会などを通して近隣の方々とのふれあいを持ち、町内会の諸活動での施設の開放も働きかけていきたい。

- ボランティアの受け入れ状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	6	87	10	9	12	11	13	10	11	6	6	13	194

- 実習・見学等 (延べ人数)

種別 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特別支援学校等作業実習	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	0	10
小・中・高生体験学習	0	0	0	0	28	0	20	20	0	0	0	0	68
大学・専門学校等実習	0	0	0	0	0	15	10	50	24	0	0	1	100
見学者	2	1	1	5	0	10	1	0	1	0	1	0	22

※体験・実習校・・・愛知教育大学、日本福祉大学、星槎大学、海翔高校

- イベントの開催 第14回 れいんぼう祭（5月29日）

6) ヒヤリハット・事故・虐待・不適切対応

種別 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
服薬関連	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
他害・物損	2	0	0	3	2	2	1	0	2	0	0	3	15
放置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無断外出・見逃し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
転倒・転落・衝突	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3
その他不適切対応	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
計	2	3	1	3	2	2	1	0	3	1	0	3	21